

ANNUAL REPORT

2008 — 2009

No. 32



Department of Social Systems and Management
Graduate School of Systems and Information
Engineering
University of Tsukuba

まえがき

筑波大学大学院システム情報工学研究科社会システム・マネジメント専攻は、社会問題（経済，経営，都市・地域等に関わる諸問題）を理工学的（分析的，数理的，計量的）アプローチによって解明し，政策的および計画的な意味合いを見出すという研究上の共通目標をもつ研究者・教育者の組織である。それぞれの構成員は，国際的に認められる質の高い研究成果を上げるように，また良き教育者であるように努めている。

2008年度の本専攻所属の教員は，教授27名，准教授23名，講師11名，助教1名の合計62名であった（2009年3月31日現在）。本専攻教員の2008年度中の研究・教育活動は，以下のように総括できる。

(1) 研究活動と国際交流

本専攻の研究活動は，2008年度も全分野（社会経済，経営工学，都市計画）にわたって活発に展開した。論文・著書に関しては，著書数が2007年度に比べて若干減少したが，最も重視している審査付論文数は，2007年度に比べて増加した。専攻発行のDiscussion Paperは，28篇（2007年度は32篇）であった。競争的研究資金の積極的導入に努め，外部研究資金を着実に獲得しており，そのうち科学研究費の採択金額は，前年度の高水準を維持している。受賞は，4件であった。

国際交流協定は，専攻として責任を持っているものが，清華大学（中国），漢陽大学校（韓国），南オーストラリア大学，南オーストラリア・フリンダース大学，アデレード大学（以上オーストラリア），ウィーン経済・経営大学（オーストリア）の6協定であり，中国科学研究院（中国）との協定に参加している。これらの大学・研究機関とは，若干名ながら研究者および学生の交流・交換が続いている。外国人研究者の受け入れと教員の海外派遣は極めて多く，国際的な研究交流が盛んであることを示している。

(2) 教育と人事

本専攻の教員が関連する教育組織は，システム情報工学研究科博士後期課程社会システム・マネジメント専攻に加えて，同研究科博士前期課程の社会システム工学専攻と経営・政策科学専攻，生命環境科学研究科環境科学専攻，理工学群社会工学類，および社会・国際学群国際総合学類である。社会システム・マネジメント専攻では，2007年度から開始した「社会人のための博士後期課程早期修了プログラム」履修生を受け入

れている。

本専攻は教員の流動性が高く、それに伴い採用・昇任人事が経常的に行われてきた。そこでは、審査付学術論文を重視した業績評価を基礎として、開かれた透明な人事に努めている。しかし昨今の採用人事の困難化に伴い、優秀な人材を確保・維持して行くためには、より一層の努力が必要となっている。

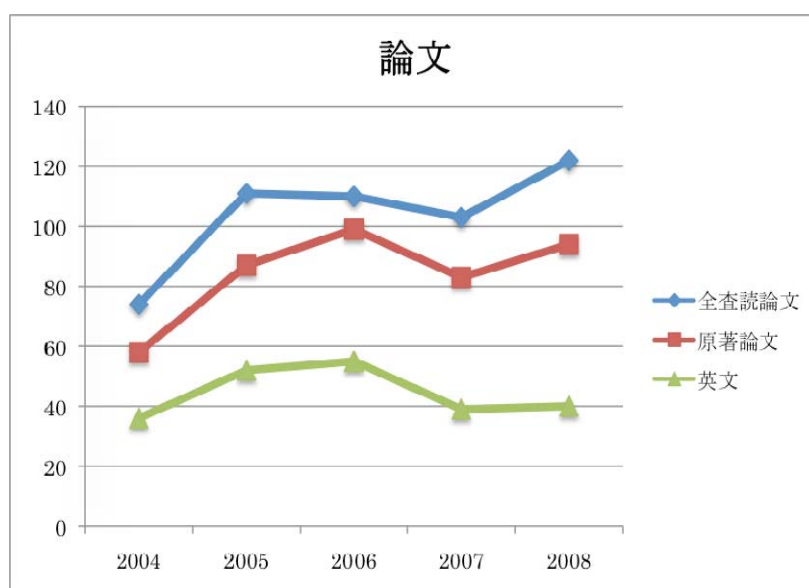
本専攻の教員は、様々な研究分野・職歴・国籍をもつ。多様な教員間の活発な交流が、相乗効果により研究成果の向上をもたらすことを期待する。本専攻の更なる成長のためには、研究・教育意欲を刺激するような環境と開かれた運営体制を整備し、中長期的視野に立ち有能な人材を確保することが必要である。また専攻業績の定期的な記録と自己評価により、専攻教員活動の社会的説明責任を果たさなければならない。本年度から内容を一新した本報告書が、そのような課題に対応するための資料を提供し、構成員及び関係者の意識向上に貢献できれば幸いである。

平成21年9月30日

社会システム・マネジメント専攻長

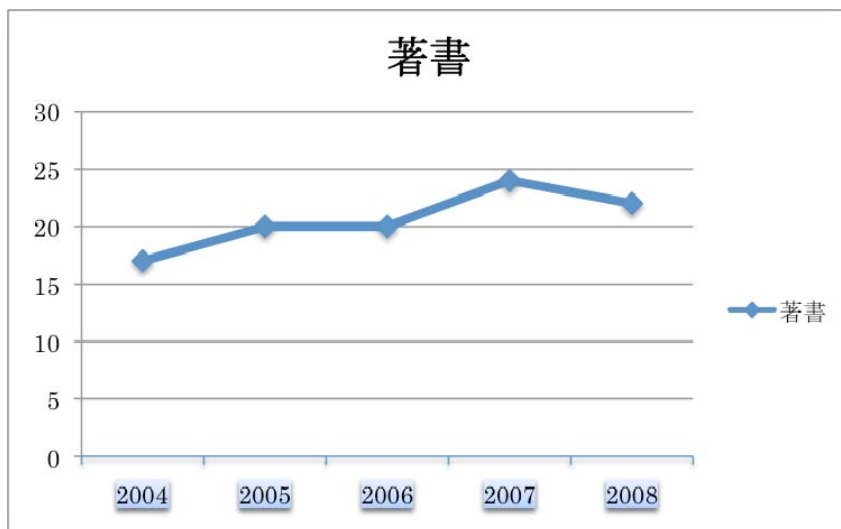
橋本昭洋

現在在籍中の教員の過去5年間の論文数及び著書（他大学に在籍中の論文も含む）

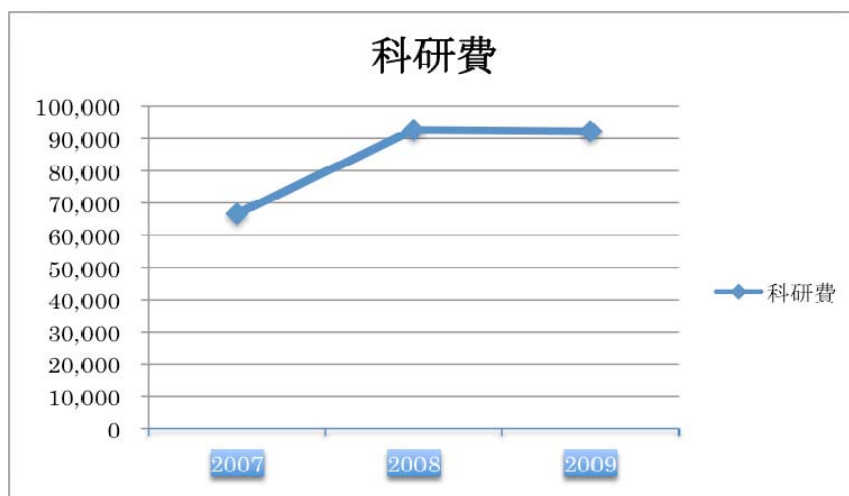


注1：2004年はデータが完備していない可能性がある。

注2：共著者が社シマ専攻の場合は重複してカウント。



現在在籍中の教員の過去3年間の科研費総額



単位は千円， 直接＋間接経費総額， 代表者が社シマ教員

目次

I.	概要	1
I-1	沿革	3
I-2	組織構成と専攻および関連組織	4
II.	教員一覧	5
III.	研究活動	12
III-1	著書	14
III-2	論文（査読付き）	16
III-3	科学研究費補助金	24
III-4	受託研究	27
III-5	受賞	28
III-6	特許	28

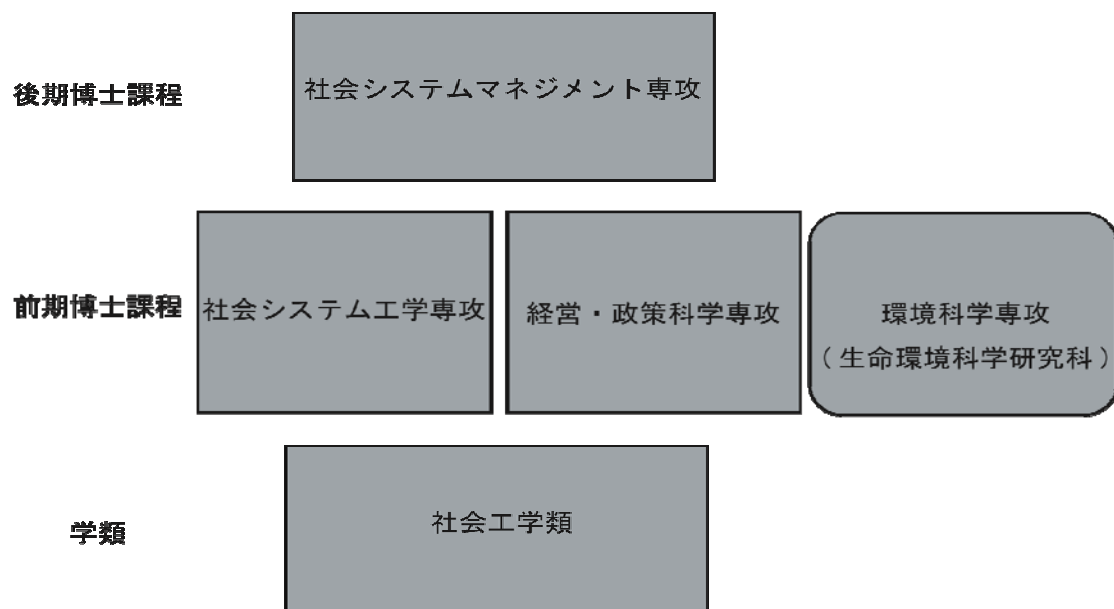
I . 概要



I-1 沿革

- 昭38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
- 昭45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
- 昭47. 5 筑波新大学(仮設) など42 機関を閣議決定
- 昭48. 10 筑波大学設置
- 昭50. 4 社会工学系発足
社会工学研究科 計量計画学専攻(博士課程) 発足
- 昭51. 4 経営・政策科学研究科 経営・政策科学専攻(修士課程) 発足
- 昭52. 4 第三学群社会工学類発足
環境科学研究科(修士課程) 発足
- 昭53. 4 社会工学研究科計量計画学, 都市・地域計画学専攻(博士課程) 発足
- 昭54. 4 社会工学研究科経営工学専攻(博士課程) 発足
- 昭56. 3 社会工学類第一回生卒業
- 昭58. 4 第三学群国際関係学類発足
- 平1. 4 経営・政策科学研究科経営システム科学専攻(夜間修士課程, 大塚地区) 発足
- 平4. 4 国際政治経済学研究科(博士課程) 発足
- 平8. 4 経営・政策科学研究科企業科学専攻(夜間博士課程, 大塚地区) 発足
- 平9. 4 社会工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻新設,
社会経済システム, システム情報数理, 都市・環境システム専攻に改組再編
- 平12. 4 システム情報工学研究科 社会システム工学専攻(博士課程, 社会経済システム,
システム情報数理, 都市・環境システム分野),
計量ファイナンス・マネジメント専攻(博士課程) 発足
- 平13. 4 ビジネス科学研究科 経営システム学科, 企業法学,
企業科学専攻(夜間・前後区分制博士課程, 大塚地区),
システム情報工学研究科 リスク工学専攻(博士課程) 発足
- 平16. 3 総合研究棟B竣工(リスク工学専攻の教員5名が移転)
- 平16. 4 筑波大学が国立大学法人に
システム情報工学研究科が部局化(人事, 予算, 施設を所掌)
学系は組織評価・企画提言を行なう組織に
- 平17. 4 社会システム工学専攻(博士課程) が社会システム工学専攻(前期修士課程) と社会
システム・マネジメント専攻(後期博士課程) に改組
経営・政策科学研究科(修士課程研究科) が経営・政策科学専攻(前期修士課程)に
改組

I-2 組織構成と専攻および関連組織



関連組織： リスク工学専攻，産学リエゾン共同研究センター

Ⅱ. 教員一覽

(平成20年4月～平成21年3月)



教授		
氏名	専門分野	研究テーマ
浅野 哲	経済統計学	
石田 東生	都市交通計画、都市計画 交通環境計画	公共交通の成立性，自動車保有と世帯交通 活動，社会資本整備と合意形成
大澤 義明	社会システム工学 都市計画 理論経済学	都市計画，地域科学，社会工学
大村 謙二郎	都市計画	土地利用計画に関する研究
小場 瀬令二	都市計画	住区内街路
金澤 雄一郎	統計科学 確率論 統計数学	共分散構造分析，欠損値のある場合の統計 的解析，生存時間解析，ノンパラメトリッ ク密度推定論
金子 守	理論経済学 数理論理学 経済学説・経済思想	住宅市場の理論的・実証的研究，ゲーム論 的決定のための推論と認識論理，帰納的 ゲーム理論：個人経験と社会観の形成，未 来地球のための社会経済思想
岸本 一男	工学基礎(数理工学)	デジタル幾何，立地問題と合理的選挙，株 価変動解析，フラクタルの解析
香田 正人	データマイニング工学 ニューラル・ネットワーク 理論 複雑系の感度解析と最適化	ニューラル・ネットワークの確率的学習の 研究，データマイニングの情報数理論的研 究，複雑系の感度解析と最適化に関する研 究，顧客対応型(CRM)ビジネスモデルとダイ レクトマーケティングのプロトタイピング
佐藤 弘史	構造工学・地震工学・維持 管理工学	橋梁診断に係わるマネジメント技術に関す る研究
佐藤 亮	ビジネスプロセス工学 経営情報システム 離散事象システム	ビジネスプロセス工学，組織情報システ ム，離散事象システム
庄司 功	時系列解析	ダイナミカルシステムモデルの統計的推論
住田 潮	応用確率論 確率過程論 金融工学 マーケティング インターネットと情報シス テム性能評価 企業戦略 組織論	集合値関数の構造解析，情報システムの性 能評価，応用確率モデルのビジネス分野へ の適用

高木英明	システム工学 計算機科学	待ち行列理論とその応用，多重サービス高速通信ネットワークの性能評価
谷口守	都市環境計画	接続可能な都市・地域づくり，都市構造マネジメント，国土計画，ソーシャル・キャピタル
土井正幸		交通経済学，港湾と地域の経済学，地域経済学，CGEモデル分析，地域経済とインフラストラクチャ
中村豊	意思決定論	測定論の基礎，不確実性下の意思決定
橋本昭洋	社会システム，システム評価決定論	社会システム分析，公共部門意思決定，評価・決定方法論，非画一的総合評価
藤井英次	国際金融論 国際経済学	金融政策と為替レートの物価浸透率，財・資本市場の国際統合，産業市場構造と相対価格の関連性
藤川昌樹	建築史・意匠 都市計画・建築計画 日本史	歴史的市街地の保存，前近代東アジアの居住環境史，日本近世都市・住宅の空間構成に関する研究
藤原良叔	組合せ理論とその応用 符号・暗号理論	周波数ホッピング系列，符号と暗号，Galois Field Packageの開発
松田紀之	認知科学 感性情報学・ソフトコンピューティング 感性情報学	リスク認知，感性的判断の支援と分析
山本芳嗣	数理工学、数理計画	大域的最適化
吉瀬章子	最適化 数理計画 工学基礎 アルゴリズムの開発	錐計画問題に対するアルゴリズムの開発と応用，相補性問題に対する数値的アルゴリズムの開発，データ解析
吉田あつし	計量経済学 医療経済学 都市経済学 教育の経済学	医療の経済分析，医療サービス需要と供給の統計分析，教育の経済分析，地理情報システムを用いた地理的経済データの統計分析
吉田雅敏	財政学・金融論 理論経済学 応用経済学	不完全競争経済における公共財と公共サービスの最適供給，家計生産理論による道路の需要予測と政策評価
吉野邦彦	空間(景観)情報工学，空間統計学 環境影響評価，環境モデリング論 環境資源保全工学，環境評価論	●生物多様性保全のための環境政策に関する研究 ●土地被覆・土地利用変化が地域生態系に及ぼす影響に関する研究 ●植物群集の分光反射特性に関する研究 ●熱帯泥炭湿地林の環境評価

准教授		
氏名	専門分野	研究テーマ
秋山英三		力学系としてのゲームの研究
有田智一	応用経済学 都市計画・建築計画	
石井健一	コミュニケーション研究 社会学 社会心理学	キャラクターの消費行動，海外における日本アニメの受容，インターネット、携帯電話など通信メディアの利用，日本メディアの海外における普及と消費行動
江口匡太	労働経済学 理論経済学	
大久保正勝		異時点間の消費決定に関する実証研究
太田充	地域科学 都市経済学 都市計画	通信技術革新と都市空間構造の自己組織化
岡本直久	交通工学・国土計画 交通計画 観光計画 社会資本投資効果分析	コンテナ港湾機能配分に関する研究，観光交通の需要分析
木島陽子	経済政策	
斎尾直子	地域施設計画 建築計画	大学キャンパスと都市環境との連携計画，生涯学習活動拠点としての公立小・中学校の機能複合化，成熟型農村地域社会におけるまちづくり計画
繁野麻衣子	数理計画 組合せ最適化	組合せ最適化，ネットワーク最適化のアルゴリズム開発
TURNBULL Stephen John	情報経済システム ゲーム論 産業経済	オープンソース及び自由ソフトウェアのミクロ経済学的分析，コンピュータネットワークの経済学的分析
高橋正文		
高安雄一	経済政策	韓国の経済格差，韓国の構造改革
張勇兵	分散処理システム，通信ネットワーク，性能評価	Optimal routing in power-aware sensor networks, WDM光通信ネットワークにおけるルーティング方式，移動エージェントによる分散処理システムの構築，移動通信システムにおける周波数資源の最適割り当て方式に関する研究
辻爾志	ファイナンス 金融工学 応用計量経済学	アセット・プライシング，コーポレート・ファイナンス，行動ファイナンス，ファイナンシャル・リスク・マネジメント

堤盛人	交通工学・国土計画	
永易淳		金融・為替政策の分析，経済・金融危機，金融資産価格変動の分析と予測，投資家の行動分析
八森正泰	組合せ論 計算機科学	
原田信行	中小企業経済学 計量経済学	中小企業の動態および政策に関する理論・実証分析，日本経済・産業の実証分析，計量経済学
繆瑩	組合せ論、符号理論、暗号理論	組合せ的デザイン理論を用いた周波数ホッピング系列の構成に関する研究
渡辺俊	都市計画・建築計画 社会システム工学 メディア情報学・データベース	地理情報システムに関する研究，建築CADシステムに関する研究，東アジアの伝統的都市の再開発手法に関する研究
渡邊真一郎	組織行動論 パーソナリティ心理学 相互作用心理学	職務満足と生活満足の関係，ワーク-ファミリー間相互作用の比較文化的研究，個人-仕事環境間のダイナミック相互作用

講師		
氏名	専門分野	研究テーマ
有馬澄佳	システム工学	
石川竜一郎	理論経済学	社会構造の認識の形成とその変遷，家計内在配分に出産が与える影響
上市秀雄	教育・社会系心理学	犯罪不安に関する認知・感情プロセスのモデル化とその応用，慢性ストレスがヒトの生理心理状態に与える影響とその対処法，意思決定における後悔の時間的变化と回復方法，進路意思決定における認知・感情過程のモデル化，逸脱行動が生起するプロセスと矯正方法に関する研究，環境ホルモンのリスク認知プロセス
岡田幸彦	会計学 商学 経営学	サービス原価企画の理論的・実証的研究，サービス科学研究教育のための“知の体系”の創造
奥島真一郎	環境経済学、政策分析	
桑原史郎	理論経済学 経済政策	
近藤文代		日次POSデータの価格反応モデル分析
藤井さやか	都市計画・建築計画	地区計画等やまちづくりルールの利用に関する研究，住民組織による住環境管理の実態と支援方策に関する研究，良質な土地ストックの維持・形成に向けた土地利用マネジメント方策に関する研究，地方都市の土地利用マネジメントに関する研究
村上暁信		
渡邊直樹	産業組織論，ゲーム理論	特許ライセンス，企業統合，協力ゲーム理論

助教		
氏名	専門分野	研究テーマ
根立俊恵	社会学	

Ⅲ. 研究活動



Ⅲ-1 著書

- [1] 香田正人(共著):顧客との関係性構築におけるサービスの役割と課題 ―サービス&リレーションシップ・マーケティング研究部会の研究活動要約―,森慎太郎、香田正人、ルディー和子他,NEWS LETTER 第七回全国研究発表大会特集号,日本ダイレクトマーケティング学会,29-32分担
- [2] 石井健一(単著):Handbook of Research in Global Diffusion of Broadband Data Transmission.,Dwivedi Y.K., Papazafeiropoulou, A., and Choudrie, J. (Eds),IGI Global
- [3] 村上暁信(共著):未来社会の設計―横浜の環境空間設計を考える,Bankart1929,20-30分担
- [4] 村上暁信(共著):都市自治体における土地利用行政の現状と課題―合併市を素材として―,金井利之,内海麻利,鎌崎孝善,長谷川貴陽史,本多幸久,村上暁信,吉田敏治,黒崎武英,鈴木潔,福島貴希,財団法人日本都市センター,66-76分担
- [5] 高木英明(共著):Spectrum Requirement Planning in Wireless Communications: Model and Methodology for IMT-Advanced,Hideaki Takagi and Berhhard H. Walke,John Wiley and Sons,248
- [6] 高木英明(単著):Research and Education of SSME in Japanese Universities,H. Takagi,Service Science, Management and Engineering, Education for the 21st Century, Springer,347-353分担
- [7] 藤川昌樹(共著):『建築大百科事典』,長澤泰・神田順他編,朝倉書店
- [8] 藤川昌樹(共著):『北京の四合院―過去・現在・未来』,北京四合院研究会編,中央公論美術出版
- [9] 藤川昌樹(共著):『日本建築100の知識』,建築史楽会(後藤治・平山育男・藤川昌樹・光井渉)編著,彰国社,
- [10] 渡邊俊(共著):北京の四合院,中央公論美術出版,61-65分担
- [11] 渡邊俊(単著):研究の風景,建築と社会
- [12] 秋山英三(共著):『どうすれば協力的な社会が作れるか,』「社会工学が面白い ― 学際学問への招待」,秋山英三(筑波大学社会工学類編),開成出版,45-52分担
- [13] 有田智一(共著):“The industrial structure and location behavior of the US, European and Asian semiconductor Industries” in Pellenbarg,P.,Wever,E.,(eds),International Business Geography,Arita, Tomokazu and McCann, Philip,Routledge, London,139-168分担
- [14] 有田智一(共著):狭あい道路と密集市街地の計画的整備―その手法と推進実務,井上隆、高見澤邦郎、加藤仁美、有田智一,地域科学研究会
- [15] 有田智一(共著):初めて学ぶ都市計画,饗庭、加藤、鈴木、伊達、根上、柳沢他,市ヶ谷出版社
- [16] 石田東生(共著):地域と大学の共創まちづくり 共著,,41-45分担
- [17] 斎尾直子(共著):地域と大学の共創まちづくり,地域・大学連携まちづくり研究会,学芸出版社
- [18] 石川竜一郎(共著):社会工学が面白い,筑波大学社会工学類,開成出版,15-22分担
- [19] 谷口守(共著):21世紀の都市像、―地域を活かすまちづくり―(近畿都市学会編),古今書院

- [20] 谷口守(共著):Urban Transport XIV, - Urban Transport and the Environment in the 21st Century, Ed, by C.A.Brebbia,Taniguchi,M., Matsunaka,R. and Nakamichi,K.,,415-424分担
- [21] 谷口守(共著):Local Sustainable Urban Development in a Globalized World, Ed.by Lauren C. Heberle and Susan M. Opp,Taniguchi,M., Ono,Y. and Abe,H.,145-160,Ashgate
- [22] 谷口守(共著):LRTと持続可能なまちづくり、都市アメニティの向上と環境負荷の低減を目指して(青山吉隆・小谷通泰編著),学芸出版社,156-171分担
- [23] 谷口守(共著):戦略的廃棄物マネジメント、～循環型社会への挑戦～(田中勝編),岡山大学出版会,133-148分担
- [24] 中村豊(単著):SSB preferences: nonseparable utilities or nonseparable beliefs,The Mathematics of Preference, Choice and Order: In Honor of Peter C. Fishburn (edited by S.J. Brams, W.V. Gehrlein and F.S. Roberts),39-55分担
- [25] 吉田あつし(共著):患者様とお医者様:必要とする人に適切な医療を,佐藤伸彦、吉田あつし,日本評論社,1-16, 75-181分担
- [26] 吉田あつし(単著):日本の医療のなにかが問題か,NTT出版,1-306分担
- [27] 浅野哲(共著):計量経済学(第2版),浅野哲、中村二郎,有斐閣

Ⅲ- 2 論文（査読付）

- [1] Yin-Wong Cheung, Menzie Chinn and Eiji Fujii, China's Current Account and Exchange Rate, China's Growing Role in World Trade, The University of Chicago Press, (2008)
- [2] Yin-Wong Cheung, Menzie Chinn and Eiji Fujii, The Fog Encircling the Renminbi Debate, Singapore Economic Review, (2008)
- [3] Yin-Wong Cheung, Menzie Chinn and Eiji Fujii, The Illusion of Precision and the Role of the Renminbi in Regional Integration, Prospects for Monetary and Financial Integration in East Asia: Dreams and Dilemmas, MIT Press, (2008)
- [4] 朴根午・大村謙二郎・有田智一・藤井さやか, 既成市街地の再整備事業からみたソウル市ニュータウン事業の考察, 都市住宅学, 63, 57-62, (2008)
- [5] 岡田忠夫, 有田智一, 大村謙二郎, 大規模開発プロジェクトが都心の機能変容に与える影響について－大手町・丸の内・有楽町地区における大規模都市開発プロジェクトを事例に－, 都市計画論文集, 43, 469-474, (2008)
- [6] 大村謙二郎, 長期間未整備の都市計画道路をめぐる都市計画訴訟に関する研究－都市計画道路の整備及び見直しのあり方を再考するために－, 都市計画論文集, 271-276, (2008)
- [7] 岡本直久・川田真理絵・石田東生・堤盛人・谷口綾子・諸田恵士, つくばエクスプレス開業が周辺住民の交通行動に与えた影響, 土木計画学研究・論文集, 25, 3, 801-806, (2008)
- [8] 瀬谷創・堤盛人・井上亮・石田東生・岡本直久, 移動平均モデルに基づく時空間内挿, 応用地域学研究, 13, 47-57, (2008)
- [9] Morito Tsutsumi and Hajime Seya, Measuring the Impact of Large-Scale Transportation Project on Land Price Using Spatial Statistical Models, Paper in Regional Science, 87, 3, 385-401, (2008)
- [10] Osama Mohawesh, Tomoyasu Ishida, Kazunari Fukumura, and Kunihiro Yoshino, Assessment of spatial variability of penetration resistance and hardpan characteristics in a cassava field, Australian Journal of Soil Research, 46, 210-218, (2008)
- [11] Kushida, K., K. Yoshino, T. Nagano, T. Ishida, Automated 3D forest surface structure extraction from balloon photographs, Photogrammetric Engineering and Remote Sensing, ASPRS, 75, 1, 25-35, (2009)
- [12] Kyota Eguchi, Damages or Reinstatement: Incentive and Remedies for Illegal Dismissal, Review of Law and Economics, Berkeley Electronic Press, 4, 1, article 21, (2008)
- [13] 石井健一, 中国におけるアニメ国産化政策と日本アニメの利用実態－「ソフトパワー」論の一考察－, 情報通信学会誌, 89, 17-28, (2009)
- [14] 佐藤理人, 村上暁信, 梅干野晃, 3D-CADモデルを用いた荷重・法規制・日照条件に基づく緑化可能空間の抽出, ランドスケープ研究, 日本造園学会, 71, 5, 763-768, (2008)
- [15] 村上暁信, 梅干野晃, 樹冠の表面温度に着目した小都市におけるヒートアイランド現象の分析－航空機熱赤外面像を用いた砺波市街地周辺の気温分布図の作成－, 日本都市計画学会学術研究論文集, 日本都市計画学会, 43, 691-696, (2008)

- [16] Takata, M., Murakami, A., Hoyano, A., Evaluation of outdoor thermal environment in the alley of the residential area for townsmen in Edo in the later part of the Edo period using 3D-CAD simulation., Proceedings of the 9th International Symposium on Building and Urban Environmental Engineering, 107-115, (2008)
- [17] Hara, Y., Takeuchi, K., Palijon, A. M., Murakami, A., Landfill development in the urban fringe of Metro Manila., GeoJournal, Springer, 71, 127-141, (2008)
- [18] Murakami, A., Hoyano, A., Study on Urban Heat Island Phenomenon in a Local Small City of Japan Multi-temporal Airborne MSS., 2008 IEEE International Geoscience & Remote Sensing Symposium, (2008)
- [19] Mamoru Kaneko, J. Jude Kline, Inductive Game Theory: a Basic Scenario, Journal of Mathematical Economics, Elsevier, 44, 1332-1363, (2008)
- [20] Mamoru Kaneko, J. Jude Kline, Information Protocols and Extensive Games in Inductive Game Theory, Game Theory and Applications, Nova Publishers, 13, 57-83, (2008)
- [21] Hiraga, R., Kato, N., and Matsuda, N., Effect of visual presentation in recognizing emotion expressed in a musical performance., In Proceedings of 2008 IEEE on SMC, P0339. Singapore., 40162, (2008)
- [22] Hiraga, R., Kato, N., and Matsuda, N., Recognizing emotion in drum performances with/without visual information by hearing-impaired people., Proceedings of 2008 American Music Therapy Association Conference, (2008)
- [23] Matsuda, N., Machida, A., & Mizuno, K., Structural comparisons of the semantic interface of the top cosmetic brands on the web by network analysis., Proceedings of IADIS-IHCI2008, 25-27, (2008)
- [24] Hiraga, R., Matsuda, N., and Kato, N., Toward music structure of improvised drum performances, Proceedings of Measuring Behavior 2008, 26-29, (2008)
- [25] Hashimoto, A. & Haneda, S., Measuring the change in R&D efficiency of the Japanese pharmaceutical industry, Research Policy, 37, 10, 1829-1836, (2008)
- [26] R. Fuji-Hara, X. Li, Y. Miao and D. Wu, A TWOOA construction for multi-receiver multi-message authentication codes, Journal of Mathematical Cryptology, Walter de Gruyter GmbH & Co. KG, 2, 1, 40084, (2008)
- [27] S.-Y. Kim and H. Takagi, Channel-Aware Distributed Throughput-Based Fair Queueing for Wired and Wireless Packet Communication Networks, IEICE Transactions on Communications, E91-B, 4, 1025-1033, (2008)
- [28] 守田祐子・藤川昌樹・村田瑞穂・米澤充, 茨城県常陸太田市鯨ヶ丘地区の構成と歴史的建造物の特性 その3 合名会社立川醤油店・立川久泰邸実測調査報告, 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-1, 897-898, (2008)
- [29] 藤川昌樹 (中国語訳: 藤川昌樹), 当前日本の歴史城市保護と歴史的城市再生; 以茨城県真壁町為例, 国際城市企画, 23, 2, 46-49, (2008)
- [30] Shun Watanabe and Yu Nishikawa, Production Method of Accurate 3D Urban Models with Digital Photogrammetry, CAADRIA 2008 Proceedings of the 13th Conference on Computer-Aided Design Research in Asia, CAADRIA, 564-571, (2008)

- [31] Watanabe, S., & Judge, T.A., A new look at the work-family relationships – Study 1, Association for Psychological Science Proceedings, 2008, Association for Psychological Science, 286, (2008)
- [32] Watanabe, S., & Judge, T.A., A new look at the work-family relationships – Study 2, Association for Psychological Science Proceedings, 2008, Association for Psychological Science, 262, (2008)
- [33] Shoji, I., A simple numerical method of checking normality in statistical models, Advances and Applications in Statistics, 10, 259-275, (2008)
- [34] G. Ge, Y. Miao and Z. Yao, Optimal frequency hopping sequences: auto- and cross-correlation properties, IEEE Transactions on Information Theory, 55, 867-879, (2009)
- [35] Fumiyo N. Kondo, Shen Zhongjian, MD. Shahriar Akter, Gradual Changes in Repeat Customers' Adoption Behavior Toward Responses To Mobile Direct Mail Coupon Promotions, International Journal of Mobile Marketing, 3, 2, 15-24, (2008)
- [36] 金春愛、黄嘉平、住田潮、盧韶南、マクロ-ミクロ統合に基づく不動産賃料推定モデルの開発、ジャレフジャーナル, 3, pp15-25, (2008)
- [37] Ushio Sumita and Jinshui Zuo, Analysis of a Correlated Multivariate Shock Model Generated from a Renewal Sequence, Proceedings of International Workshop on Applied Probability, (2008)
- [38] Ushio Sumita and J . Huang, Analysis of a Multivariate Counting Process Generated from an Age-dependent Non-homogeneous Poisson Process Defined on a Finite Semi-Markov Process, Proceedings of International Workshop on Applied Probability, (2008)
- [39] Ushio Sumita and Kazuki Takahashi, Analysis of Effective Service Time under MMPP Service Interruptions with State Dependent Interruption Periods, Proceedings of International Workshop on Applied Probability, (2008)
- [40] Ushio Sumita and Rina Isogai, Development of e-Marketing Contract Structure Based on Consumer-Generated Contents and Its Optimal Strategy, Proceedings of the Winter Conference on Business Intelligence, (2009)
- [41] Ushio Sumita and Atsushi Namikawa, Dynamic Analysis of A Class of Spatially Homogeneous Skip-Free Semi-Markov Processes, Proceedings of International Workshop on Applied Probability, (2008)
- [42] Ushio Sumita and Jun Yoshii, On Relationship between Ergodic Sojourn Time and Ergodic Residual Exit Time for Semi-Markov Processes, Proceedings of International Workshop on Applied Probability, (2008)
- [43] M. Mizuno, A. Saji, U. Sumita and H. Suzuki, Optimal Threshold Analysis of Segmentation Methods for Identifying Target Customers, European Journal of Operations Research, Vol.186, 1, pp.358-379, (2008)
- [44] 秋山英三, 吉田和男, エラー付き指導者ゲームにおける戦略の進化 (by 秋山英三, 吉田和男), The Proceedings of the Joint Agent Workshop (JAWS 2008), USBメモリによる配布., 8, (2008)

- [45] 齋藤宗香, 山口裕, 八槇博史, 秋山英三, 瀬島誠, 吉田和男, 国際政治・経済研究のためのシミュレーション環境GPGSiMの開発 (by 齋藤宗香, 山口裕, 八槇博史, 秋山英三, 瀬島誠, 吉田和男), The Proceedings of the Joint Agent Workshop 2008 (JAWS 2008) USBメモリによる配布, 8, (2008)
- [46] 杉崎裕治, 今井ゆきこ, 秋山英三, 友人関係ネットワークとメッセージ伝達ネットワークの構造と、その時間発展 (by 杉崎裕治, 今井ゆきこ, 秋山英三), 日本ソフトウェア科学会ネットワークが創発する知能研究会第3回ワークショップ (JWEIN2008) Proceedings, 日本ソフトウェア科学会, 57-64, (2008)
- [47] Suzuki, S and Akiyama, E, Chaos, oscillation and the evolution of indirect reciprocity in n-person games (by Suzuki, S and Akiyama, E), Journal of Theoretical Biology, 252, 686-693, (2008)
- [48] Suzuki. S. and Akiyama, E, Evolutionary stability of first-order-information indirect reciprocity in sizable groups (Suzuki. S. and Akiyama, E), Theoretical Population Biology, 73, 426-436, (2008)
- [49] Masahiro Hachimori and Sonoko Moriyama, A note on shellability and acyclic orientations (by Masahiro Hachimori and Sonoko Moriyama), Discrete Mathematics, Elsevier, 308, 12, 2379-2381, (2008)
- [50] Masahiro Hachimori, Decompositions of two-dimensional simplicial complexes (by Masahiro Hachimori), Discrete Mathematics, Elsevier, 308, 11, 2307-2312, (2008)
- [51] Masahiro Hachimori and Masataka Nakamura, The max-flow min-cut property of 2-dimensional affine convex geometries (by Masahiro Hachimori and Masataka Nakamura), Discrete Mathematics, Elsevier, 308, 9, 1674-1689, (2008)
- [52] Ian Marsh, Jun Nagayasu, Determinants of PIN: evidence from Japanese stock exchange market, Western Economic Association International Pacific Rim Conference, (2009)
- [53] Jun Nagayasu, Inflation in China from 1991 to 2005, Western Economic Association Annual Meeting, Hawaii, USA, (2008)
- [54] Jun Nagayasu, Inflation in China from 1991-2005, 日本金融学会, (2008)
- [55] Ian Marsh, Jun Nagayasu, J Wandrin, Some evidence on the effectiveness of a securities transaction from the US equity market, AFA-NFA International Conference, Conference Proceedings, (2008)
- [56] Y.-C. Jiao, C. Dang and Y. Yamamoto, An extension of the decomposition method for solving nonlinear equations and its convergence, Computers and Mathematics with Applications, Elsevier, 55, 760-775, (2008)
- [57] D. Talman and Y. Yamamoto, Average tree solution and subcore for acyclic graph games, Journal of the Operations Research Society of Japan, 51, 3, 203-212, (2008)
- [58] Ryo Sato, Yasuto Fukunaga, Managing Innovation for Service Through Systems Concepts, Systems Research and Behavioral Science, 25, 627-635, (2008)
- [59] 楠見孝, 栗山直子, 齊藤貴浩, 上市秀雄, 進路意思決定における認知・感情過程: 高校から大学への追調査に基づく検討, キャリア教育研究, 26, 1, 39889, (2008)
- [60] Ueichi, H., & Kusumi, T., Structural equation modeling of risk avoidance in everyday life, New Trends in Psychometrics, Universal Academic Press, 491-500, (2009)

- [61] 瀬谷創・堤盛人・井上亮・石田東生・岡本直久,移動平均モデルに基づく時空間内挿,応用地域学研究,13,47-57,(2008)
- [62] 崔瑛,小場瀬令二,岡本直久,自治体の類型化からみる地域ブランド関連施策の特徴に関する研究,土木計画学研究・論文集,25,2,319-328,(2008)
- [63] Maiko SHIGENO,An adjustable robust approach for a 1-median location problem on a tree,Journal of the Operations Research Society of Japan,51,2,127-135,(2008)
- [64] Zhe HOU and Maiko SHIGENO,New Bounds on the Minimum Number of Calls in Failure-Tolerant Gossiping,Networks,53,1,35-38,(2009)
- [65] 仲村健,斎尾直子,まちづくり活動を対象とした大学-地域連携に関する研究,日本建築学会学術講演梗概集,日本建築学会,F1,213-216,(2008)
- [66] 斎尾直子,公立小中学校の統廃合プロセスと廃校舎利活用に関する研究,日本建築学会 計画系論文集,日本建築学会,627,1001-1006,(2008)
- [67] 小林史嗣,斎尾直子,都市農村混在・混住地域における住民交流活動拠点の場所性に関する研究,農村計画学会誌,農村計画学会,第27,論文特集,341-346,(2009)
- [68] Tananun Orawiwattanakul, Yusheng Ji, Yongbing Zhang, and Jie Li,Preemption Scheme for Providing Rate Fairness in Optical Burst Switching Networks,IEEE International Conf. High Performance Switching and Routing (HPSR 2008),39-44,(2008)
- [69] Masakatsu Okubo,On the Intertemporal Elasticity of Substitution under Nonhomothetic Utility,Journal of Money, Credit and Banking,40,1065-1072,(2008)
- [70] Takashi Matsuhisa, Ryuichiro Ishikawa,Rational expectations can preclude trades,Advances in Mathematical Economics,Springer,11,105-116,(2008)
- [71] Naoki Watanabe and Shigeo Muto,Stable Profit Sharing in Patent Licensing: General Bargaining Outcomes,International Journal of Game Theory,Springer,37,505-523,(2008)
- [72] 谷口守,アーバンフォームから探る持続可能な都市,日本建築学会大会・都市計画部門・研究協議会、人口減少時代における土地利用計画の運用と展望,39819,(2008)
- [73] 氏原岳人・谷口守・松中亮治,エコロジカル・フットプリントを用いた環境負荷の地域間キャップ&トレード制度の提案、－“身の丈にあった国土利用”に向けた新たなフレームワークの構築－,都市計画論文集,43,3,877-882,(2008)
- [74] 横山大輔・藤井啓介・谷口守,ガソリン価格高騰による個人の自動車利用抑制の実態,交通工学論文報告集,28,273-276,(2008)
- [75] 氏原岳人・谷口守・松中亮治,エコロジカル・フットプリント指標を用いた地区レベルの環境負荷超過率の検討,土木計画学研究・論文集,25,141-146,(2008)
- [76] 谷口守・松中亮治・芝池綾,ソーシャル・キャピタル形成とまちづくり意識の関連,土木計画学研究・論文集,25,311-318,(2008)
- [77] 門間俊幸・森友雅彦・谷口守,モビリティ・マネジメントが圏域にもたらす効果,運輸と経済,68,12,36-47,(2008)

- [78] 谷口守,リバース・スプロールを考える、一人口減少期を迎えたスプロール市街地が抱える課題ー、都市住宅学,61,28-33,(2008)
- [79] 松中亮治・谷口守・板垣大介,一般廃棄物処理計画における収集・運搬の最適化に関する実証的研究、一岡山市・玉野市を対象としてー,土木計画学研究・論文集,25,93-100,(2008)
- [80] 横山大輔・谷口守・松中亮治,運転動機と環境意識が交通環境負荷低減策の受容性に及ぼす影響、ーショッピングCO2排出量指標を用いてー,環境システム研究論文集,36,389-396,(2008)
- [81] 氏原岳人・谷口守・松中亮治,環境バランスを考慮した都市・地域計画へのエコロジカル・フットプリント指標の導入,環境システム研究論文集,36,207-216,(2008)
- [82] 中井祥太・谷口守・松中亮治・森谷淳一,健康意識に働きかけるMMの有効性、一万歩計を用いた健康歩行量TFPを通じてー,土木学会論文集D,64,1,45-54,(2008)
- [83] 中道久美子・谷口守・松中亮治,交通環境負荷低減に向けた都市コンパクト化政策検討のためのデータベース「住区アーカイブ」の構築,土木学会論文集D,64,3,447-456,(2008)
- [84] 谷口守・松中亮治・山本悠二,今後の生物多様性保全策の検討材料としての特定生物種保全の実態分析、一人間の「好き嫌い」と地域特性に着目してー,都市計画論文集,43,1,60-65,(2008)
- [85] 橋本晋輔・藤井啓介・谷口守・松中亮治,車依存型行動群の増加実態とその意識構成,環境システム研究論文集,36,381-388,(2008)
- [86] 中道久美子・中島廣長・村尾俊道・西堀泰英・谷口守,集約型都市構造実現によるCO2削減効果の定量的分析,環境システム研究論文集,36,40135,(2008)
- [87] 谷口守・中道久美子,住宅地タイプに着目した都市拡散の実態と撤退・集中の可能性,住宅総合研究財団研究論文集,35,61-70,(2008)
- [88] 中道久美子・谷口守・松中亮治,転居を通じた都市コンパクト化による自動車依存低減策の実効性分析、一大都市圏における転居前後の交通行動変化分析を通じてー,都市計画論文集,43,3,889-894,(2008)
- [89] 谷口守・芝池綾,都市コンパクト化政策に対する都市計画行政担当者の態度形成・変容分析,土木学会論文集D,64,4,608-616,(2008)
- [90] 谷口守・松中亮治・平野全宏,都市構造からみた自動車CO2排出量の時系列分析,都市計画論文集,43,3,121-126,(2008)
- [91] 内田元喜・氏原岳人・谷口守・松中亮治,都市撤退を考慮した郊外部の土地利用計画に関する環境負荷・受容量への影響分析、ー整備手法の異なる地区を対象としたエコロジカル・フットプリント分析ー,都市計画論文集,43,3,883-888,(2008)
- [92] 平野全宏・中道久美子・谷口守・松中亮治,都市別自動車CO2排出量の定量化とその経年変化分析,環境システム研究論文集,36,19-26,(2008)
- [93] 松中亮治・谷口守・大窪剛宏・楠田裕子,福祉有償運送導入後の移動制約者の交通行動に関する研究,土木計画学研究・論文集,25,835-842,(2008)
- [94] 松中亮治・谷口守・木宮健吾,複数のプロジェクト分割方法に基づく高規格幹線道路網の段階的整備プロセスの比較,土木計画学研究・論文集,25,581-588,(2008)

- [95] 横山大輔・谷口守・松中亮治,路線バス利便性向上策に対する居住者の反応意識特性,交通工学論文報告集,28,145-148,(2008)
- [96] M.Taniguchi, R.Matsunaka and T.Ujihara:,Reverse sprawl: New problems of city planning in an era of population decrease,Asian Pacific Planning Review,5,1,57-70,(2008)
- [97] 吉田あつし、張、牛島光一,学校の質と地価,住宅土地経済,財団法人日本住宅総合センター,68,春季,40104,(2008)
- [98] Atsushi Yoshida, Young-Sook Kim,Sharing Health Risk and Income Risk Within Households: Evidence from Japanese Data,Applied Economics,Taylor & Francis Journals,40,13,1723-1735,(2008)
- [99] 大澤義明, 小野田竜巳, 小林隆史,コーホート変化率法による地域別人口予測の集計誤差,日本建築学会計画系論文集,634,2605-2612,(2008)
- [100] 小林隆史, 雨宮護, 大澤義明, 腰塚武志,都市計画論文集の引用文献分析—論文集間比較と経年比較—,都市計画論文集,115-120,43,(2008)
- [101] 大澤義明, 林利充,隣接グラフと地利値最大化問題,日本建築学会計画系論文集,633,2417-2424,(2008)
- [102] Y.Ohsawa, N.Ozaki and F.Plastria,Equity-efficiency bicriteria location with squared Euclidean distances,Operations Research,56,1,79-87,(2008)
- [103] 飯野雅之・有馬澄佳,特許登録動向に対するシミュレーションモデルの構築と比較,日本知財学会第六回年次学術研究発表会,社団法人 日本知財学会,6,570-573,(2008)
- [104] Takashi Sato, Michio Honma, Hiroyuki Itoh, Nobuyuki Iriki, Sachiko Kobayashi, Norihiko Miyazaki, Toshio Onodera, Hiroyuki Suzuki, Nobuyuki Yoshioka, Sumika Arima,Guidepost for semiconductor manufacturing - Activity report of JEITA DFM Production Management Subcommittee,Proceedings of AEC/APC Symposium Asia 2008,(2008)
- [105] 藤井さやか・大澤昭彦・小泉秀樹・中井検裕・中西正彦,「絶対高さ型高度地区を活用した建築物の高さ制限に関する研究」に対する討論,日本建築学会計画系論文集,日本建築学会,634,2801-2802,(2008)
- [106] 城間奨・藤井さやか・有田智一・大村謙二郎,工業団地の用途転換による大規模商業集積に関する研究: 栃木県を対象として,日本都市計画学会学術論文集,日本都市計画学会,43,3,925-930,(2008)
- [107] 岡田幸彦・荒井耕,「わが国サービス原価管理論の展望」(岡田幸彦・荒井耕),『原価計算研究』,32,1,54-63,(2009)
- [108] Yoko Kijima, Keijiro Otsuka and Dick Sserunkuuma,Assessing the Impact of NERICA on Income and Poverty Reduction in Central and Western Uganda,Agricultural Economics,32,327-337,(2008)
- [109] Chikashi TSUJI,Do Industries Lead Fama-French Factor Returns in Japan?,The Open Business Journal,1,34-39,(2008)
- [110] Chikashi TSUJI,How Do the Time-Varying Risk Prices Behave in Japan? An Investigation with a Multivariate GARCH-CAPM Approach,The Open Economics Journal,1,58-63,(2008)

- [111] Chikashi TSUJI, Quadruple-Threshold Credit Risk Modeling: Implications for Corporate Financial Risk Management, The Open Management Journal, 1, 26-31, (2008)
- [112] 高安雄一, 韓国における所得格差拡大の要因－通貨危機以降を中心に－, 現代韓国朝鮮研究, 現代韓国朝鮮学会, 8, 86-98, (2008)
- [113] Partha P. Sarkar, Luca Caracoglia, Frederick L. Haan Jr., Hiroshi Sato and Jun Murakoshi, Comparative and sensitivity study of flutter derivatives of selected bridge deck sections, Part 1: Analysis of inter-laboratory experimental data, Engineering Structures, Elsevier Ltd, 31, 1, 158-169, (2009)
- [114] Watanabe, N., A. Muto, Stable Profit Sharing in Patent Licensing: General Bargaining Outcomes, International Journal of Game Theory, 37, 505-523, (2008)
- [115] 渡邊直樹、中島亮、依田高典, 日本の携帯電話端末価格についてのヘドニック回帰分析: QAP指数から見た動学的企業戦略, 電気通信普及財団研究成果報告書no23, 1-19, (2008)
- [116] Okushima, S., M. Tamura, A Double Calibration Approach to the Estimation of Technological Change, Journal of Policy Modeling, 31, 119-125, (2009)
- [117] Okushima, S., M. Tamura, What causes the change in energy demand in the economy?: The role of technological change, Energy Economics, for the coming, (2009)

Ⅲ- 3 科学研究費補助金

科学研究費補助金一覧表

代表者	研究課題	研究種目	2008年度 交付金額 (千円)
住田 潮	CRMとインターネット:優良顧客識別アルゴリズムの評価とブラウジング行動解析	基盤研究(C)	390
金子 守	帰納的ゲーム理論と限定合理性:経験からの社会観形成と行動決定	基盤研究(B)	3,380
大澤 義明	高速道路建設における国民投票の意義ー民主主義と経済効率との対立に着目してー	基盤研究(B)	2,990
石田 東生	乗用車の長期的走行再現シミュレータの開発と代替燃料車普及戦略への応用	基盤研究(B)	3,380
近藤 文代	日次POSデータを用いた重大事件ニュースの効果測定	基盤研究(C)	910
吉田 雅敏	公共サービス支出と家計生産に関する研究	基盤研究(C)	650
繆 宝	組合せ的デザイン理論を用いた周波数ホッピング系列の構成に関する研究	基盤研究(C)	910
小場瀬 令二	オールドニュータウンとその周辺住宅地の持続性研究ー筑波の場合ー	基盤研究(C)	1,430
永易 淳	情報と投資家行動の実証分析	萌芽研究	500
藤川 昌樹	積層パターンに着目した都市居住環境史の再構築	萌芽研究	800
秋山 英三	理論的分析と実験的検証による様々なジレンマ状況における評判の効果に関する研究	若手研究(B)	910
大久保 正勝	マクロ金融分析における弱操作変数問題と予測可能性の検定	若手研究(B)	780
村上 暁信	リモートセンシングを活用した生物季節学図の作成と都市微気候の評価	若手研究(B)	650
渡邊 真一郎	ワーク-ファミリー関係論の組織心理学的発展	基盤研究(B)	1,820
大村 謙二郎	社会経済の構造転換時代における地方中核産業都市の地域再生方策に関する日独比較研究	基盤研究(B)	3,380
石井 健一	中国における文化政策とポピュラー文化の変容	基盤研究(B)	1,690
繁野 麻衣子	ネットワーク理論の基盤整備と伸張	基盤研究(C)	1,560

土井 正幸	わが国の物流効率化による地域経済へのインパクト分析と運輸・地域経済協調政策	基盤研究(C)	1,690
上市 秀雄	犯罪不安に関する認知・感情プロセスのモデル化とその応用	基盤研究(C)	1,170
金子 守	賃貸住宅市場シミュレータの開発:その具体応用と経済理論・ゲーム論の基礎の検証	萌芽研究	1,400
石川 竜一郎	社会構造の認識形成とコミュニケーション:その経済学への応用	若手研究(B)	1,300
岡田 幸彦	わが国サービス組織における原価管理の実証的研究—アンケート調査を中心に	若手研究(スタートアップ)	1,235
金澤 雄一郎	係数分布型ロジットモデルによる単期間需要推定モデルの提案・比較と多期間への拡張	基盤研究(B)	1,950
吉田 あつし	教育政策や教育効果のミクロ計量分析	基盤研究(B)	7,800
江口 匡太	市場経済と法制度の相互関係に基づく雇用法制の研究:解雇法制を中心に	基盤研究(B)	4,030
有田 智一	用途複合化の進展に対応した新たな建築用途・形態の規制・評価手法に関する研究	基盤研究(B)	5,200
藤川 昌樹	江戸藩邸作事における建設マネジメント手法に関する文理統合的研究	基盤研究(B)	4,500
藤原 良叔	UWBタイム・ホッピング系列の組合せ論的構成に関する研究	基盤研究(C)	1,560
高木 英明	資源の動的最適配分法の理論とその無線周波数帯域割当て及びサービス科学への応用	基盤研究(C)	1,040
藤井 英次	世界経済の構造変化と経常収支の不均衡に関する研究	基盤研究(C)	910
吉瀬 章子	センサネットワークにおけるノード位置を高精度に推定する半正定値最適化手法の開発	基盤研究(C)	1,430
堤 盛人	土木計画学における空間計量経済モデルの実用化に関する研究	基盤研究(C)	1,820
大澤 義明	地方分権社会における自治体間格差・不均衡の意義—市町村政策の時空間伝播—	萌芽研究	1,900
中村 豊	主観的期待効用理論の再構築—合理的意思決定の新たな基礎付けに向けて—	萌芽研究	600
奥島 真一郎	人々の環境モラルに基づく自発的行動と望ましい環境政策	若手研究(B)	1,560
桑原 史郎	内生的成長理論を用いた世界の二極化構造の動学的解明	若手研究(B)	780

原田 信行	縮小経済のもとでの中小企業と企業家活動	若手研究(B)	1,300
木島 陽子	途上国移民の地域開発と家計の厚生に関する動学的実証分析:メキシコの事例	若手研究(B)	3,770
藤井 さやか	地区計画と自主ルールの変遷を通じた住民主体の住環境管理に関する研究	若手研究(B)	1,560
浅野 哲	ブラジル消費者需要システムの推定—ブラジル個票データの計量経済学的分析	国際学術研究	2,480
渡邊 直樹	動学的産業構造の理論・実証研究:研究開発、ライセンス、内生的提携形成	若手研究(B)	1,170

Ⅲ- 4 受託研究

受託研究一覧表

担当者	研究期間	研究題目	委託機関
1 木島陽子	2008年4月	Technology Policies for a Green Revolution and Agricultural Transformation in Africa	
2 石田東生	2008年4月～2009年3月	橋梁診断に係わるマネジメント技術に関する研究	
3 斎尾直子	2008年～2009年	国立教育政策研究所「教育条件に関する総合的研究（学校配置研究分野）」	国立教育政策研究所
4 高木英明	2008年4月～2010年3月	文理融合型サービス・イノベーション研究教育拠点形成のための研究ネットワーク基盤構築	
5 高木英明	2008年4月～2009年3月	産学連携による実践型人材育成事業—サービス・イノベーション人材育成—	
6 大澤義明	2008年10月～2009年3月	土地関係研究推進事業「特定用途制限地域の意義—地方分権会と環境時代という対立の構造の中で」	
7 有馬澄佳	2008年6月～2009年3月	革新的装置エンジニアリングシステムに関する研究	株式会社ルネサステクノロジ
8 永易淳	2009年4月～2010年3月	国際金融システム・政策協調の将来を考える	
9 谷口 守	2008年4月～2009年3月	中国圏広域連携データ分析調査	・中国地方整備局 ・島根県中山間地域研究センター

Ⅲ- 5 受賞

受賞一覧表

-
- | | |
|-----|--|
| [1] | 吉野邦彦 2008 Best Award on Poster Presentation: Second Annual Conference of The Association for Tropical Biology and Conservation(ATBC), The Association for Tropical Biology and Conservation(ATBC) in Kuchin, Malasia April 23-26, 2008, Deforestation Process and Land-use Changes within Pas: A Case Study in Gunung Palung National Park, West Kalimantan, Indonesia, 2008 |
| [2] | 高木英明 第24回電気通信普及財団賞 テレコムシステム技術賞(奨励賞), 財団法人 電気通信事業財団, 次世代移動通信システムにおける所要周波数帯域幅算法, Methodology for Calculation of Spectrum Requirements for the Next Generation Mobile Communication Systems, 2009 |
| [3] | 渡邊俊 Bset Paper Award, CAADRIA, 2008 |
| [4] | 原田信行 平成20年度中小企業研究奨励賞・本賞, 財団法人商工総合研究所, 2009 |
-

Ⅲ- 6 特許

特許一覧表

-
- | | |
|-----|--|
| [1] | 張勇兵 移動体位置追跡システムおよびプログラム, 特願2008-300921, 2008年11月, 日本 |
|-----|--|
-